
本メールは日本臨床検査専門医会の電子メール新聞 JACLaP WIRE No.72 です。

===== 目次 =====

- 【お知らせ-1】 会員動向
- 【お知らせ-2】 日本臨床検査専門医会振興会セミナーについて
- 【お知らせ-3】 平成16年度会費納入について
- 【お知らせ-4】 名誉会員、有功会員の推薦と選出について
- 【お知らせ-5】 第3回EBLM研修会実施要領
- 【最新トピックス】
 - 【1】 野生動物を生食してE型肝炎
- 【MTJ (The Medical & Test Journal) 5月21日号から】
- 【MTJ (The Medical & Test Journal) 6月1日号から】
- 【MTJ (The Medical & Test Journal) 6月11日号から】

===== JACLaP WIRE =====

- 【お知らせ-1】
会員動向 (2004年6月25日現在数 678名, 専門医 464名)
新入会員
岡山昭彦 先生: 宮崎大学医学部臨床検査医学講座
溝渕光一 先生: 独立行政法人労働者健康福祉機構香川労災病院

- 退会会員
山際裕史 先生: 国立三重中央病院臨床検査科

===== JACLaP WIRE =====

- 【お知らせ-2】 日本臨床検査専門医会振興会セミナーについて
以下のように開催を予定しています。
振興会会員の皆様方にはまだ参加人数に余裕がございます。まだお申し込みになっていらっしゃるかたはご参加の連絡を事務局までお届けください。
すでにお届けしてある参加申し込み書に記入後 FAX で事務局までお届けください。
よろしく願いいたします。なお、振興会会員の皆様だけでなく会員の皆様のご出席を希望いたします。

平成16年度日本臨床検査専門医会
第22回 日本臨床検査専門医会振興会セミナー

日時：平成 16 年 7 月 16 日（金曜日） 午後 2 時～5 時
会場：東京ガーデンパレス（JR、地下鉄お茶の水、電話：03-3813-6211）

題名：包括医療（DPC）施行後の現状と将来展望
～これからどうなる DPC～

- 1) 国立大学病院の立場から
防衛医科大学校 玉井 誠一 教授
- 2) 私立大学病院の立場から
帝京大学医学部 宮澤 幸久 教授
- 3) 一般病院の立場で今後どのように対応するか
亀田総合病院病理部 小久保 武 部長
- 4) 厚生労働省の立場から
保険局医療課 桑島 昭文 筆頭補佐官（中村 健二 企画官から変更予定）

===== JACLaP WIRE =====

【お知らせ-3】平成 16 年度会費納入について

未納の先生方は本年度会費のお支払いをお願いいたします。
なお、本年度からは住所、氏名を入れてお届けしています。
所属、住所、その他の変更がございましたら振り込み時に通信欄にご記入ください。

===== JACLaP WIRE =====

【お知らせ-4】名誉会員、有功会員の推薦と選出について

本会も 21 年目を迎え、名誉会員、有功会員を選出することになりました。
会則第 3 章の第 5 条 4 と 5 に該当する先生で、ご本人が了解された方を
7 月 20 日(火)までに事務局にご推薦下さい。推薦された先生方について、
幹事会に諮り、9 月の総会で承認を受け認証します。

===== JACLaP WIRE =====

【お知らせ-5】第 3 回 E B L M 研修会実施要領

EBLM 委員会では、2004 年 8 月 27 日（金）に昭和女子大学（東京都世田谷区）において、初学者を対象に実技を中心とした EBLM 研修会を開催します。演習中心のため受講募集数は 20 名となっていますので、受講希望の方は次の実施要領をご参照頂き、氏名・所属・連絡先を明記のうえ、早めにお申し込み下さい。

期日：2004 年 8 月 27 日（金曜日）
会場：昭和女子大学（東京都世田谷区太子堂 1-7） 80 年記念館 6 階実習室 E
案内図：<http://www.swu.ac.jp/showa/campus.html>

受講対象者：原則として日本臨床検査医学会会員（それ以外の方でも応相談）

受講定員：20名

受講費用：2,000円（教材費および弁当代を含む）

お問い合わせ・お申し込み先（事務局）

EBLM 研修会実行委員長 西堀 眞弘

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

東京医科歯科大学医学部附属病院 検査部

E-mail: mn.mlab@tmd.ac.jp

研修内容（内容は都合により変更されることがあります）

（カッコ内は教材準備担当者で、当日の指導者とは異なることがあります）

事前遠隔教育

（当日講義はなく電子教材を閲覧して事前に自習していただきます）

- 1) EBM と系統的レビュー総論（西堀眞弘委員）
- 2) EBLM 総論（西堀眞弘委員）
- 3) 文献検索とハンドサーチの基礎知識（石田博委員）
- 4) バイアスとその批判的吟味の手法（石田博委員）
- 5) 臨床検査値特有の問題（三宅一徳委員）
- 6) 多変量解析によるバイアスの制御法（市原清志委員）

09:00-09:10

開会挨拶

オリエンテーション

09:10-11:20

臨床的疑問の系統的記述（PECO）と一次資料の検索（石田博委員）

テーマ：「糖尿病患者に対する抗 GAD 抗体の測定は有用な検査か」

11:30-12:30

昼食休憩

12:40-14:10

検索で得られた文献の批判的吟味（三宅一徳委員）

[作業内容説明文書(準備中) / 演習指導要領(準備中)]

テーマ：「糖尿病性腎症の予防のためのスクリーニング検査としての尿中微量アルブミン簡易測定法の有用性」

14:20-15:50

多変量解析を用いた臨床検査の診断的意義の比較検証法（市原清志委員）

テーマ：「脂質やCRPの測定は生活習慣病の診断に有用か？」

15:50-16:10

全体総括

閉会挨拶

(詳細はhttp://temp.jscp.org/c_eblm/20040827a.htmlに掲載されています)

===== JACLaP WIRE =====

【最新トピックス - 1】野生動物を生食して E 型肝炎

2003 年 2 月にシカ肉を生で食べて兵庫県の 4 人が E 型肝炎に感染し、同年 4 月には鳥取県でイノシシの肝臓を生で食べた男性 2 人が約 6 週間後に発症、うち 70 歳の男性が劇症肝炎で死亡した。2004 年 3 月には、長崎県で野生のイノシシ肉をバーベキューで焼いて食べた 11 人全員が E 型肝炎に感染していた。E 型肝炎ウイルスは妊婦や高齢者に感染すると劇症肝炎を発症し、死亡する率が高いので、注意が必要である。

E 型肝炎は経口感染し、開発途上国(中央アジア、東南アジア、インド、中国、北アフリカ、メキシコ)に常在し散発的に発生している。E 型肝炎にかかると、平均 6 週間の潜伏期の後に、黄疸、発熱、悪心・腹痛等の消化器症状、肝腫大、肝機能の悪化などがみられ、大半は治癒するが、まれに劇症肝炎で死亡する。診断法は、ペア血清の測定、核酸増幅検査(NAT、RT-PCR)による HEV RNA の検出により診断する。治療法は急性期の対症療法と劇症化した場合には、血漿交換、人工肝補助療法、肝移植などが必要となる。E 型肝炎の予防は手洗い、飲食物の加熱が重要である。日本では野生のシカが年間約 10 万頭捕獲され、食肉として流通している。厚生労働省は、野生動物の肉を生で食べないように呼び掛ける通知を都道府県に出した。

(獨協医科大学越谷病院臨床検査部教授 森 三樹雄)

===== JACLaP WIRE =====

【MTJ (The Medical & Test Journal) 5 月 21 日号から】

6 月の D P C 試行は 3 病院にとどまる

6 月の D P C 試行開始病院は、独立行政法人国立病院機構仙台医療センター (宮城県)、健康保険諫早総合病院 (長崎県)、社会保険群馬中央総合病院 (群馬県) の 3 病院にとどまり、7 月から試行を開始するのが 40 病院にのぼることが、本紙の調査でわかった。4 月に官報告示された D P C 試行 51 病院のうち 4 月から 6 月までの 3 か月間で 11 病院が D P C 試行に入ることになる。

伊達日衛協会長 事業展開は対外的な議論深める対話重視の方向へ

日本衛生検査所協会の平成 16 年度通常総会が 5 月 17 日、京都市内で開かれた。伊達忠一会長 (参議院議員) は、日衛協としての事業展開について、各委員会を中心に、厚労省など所管の担当者などと対外的に十分な議論をしながら“実のある”成果に結びつけていきたいと述べ、対話路線を打ち出した。

神奈川県立がんセンター ブランチラボでISO15189の認証取得

神奈川県立がんセンター（415床、多羅尾和郎センター長）の院内委託検査室（ブランチラボ・請負先はSRL）が昨年末にISO15189の認証書を取得していたことが、このほど明らかになった。今回のISO15189の取得は、スイスジュネーブに本社をおくSGS（ソシエテ・ジェネラル・ド・サーベイランス）ジャパンによるプライベート認証だが、ブランチラボによるISO15189の取得は、全国でも初めての事例。

健康食品管理士認定協会が正式スタート

健康食品管理士認定協会は5月9日、設立会議を開き、正式にスタートした。会合では、役員互選によって初代理事長に長村洋一氏（藤田保健衛生大学衛生学部教授）が選出された。第1回認定試験は、11月7日に実施することを確認した。

日臨技定期総会 データ共有化試料を全国1000施設でデータ検証

5月13日に行われた日本臨床衛生検査技師会の2004年度第1回定期総会で小崎繁昭会長は、データの共有化問題に言及し、今年度中に日臨技推奨のHCV関連の共有化試料インフェクトロールを全国1000施設に配布し、データの検証を推進する計画を明らかにし、事業を通じて共有化試料の普及に努めていく考えを表明した。

日臨技朝山副会長 業務制限は日医の反対強く継続折衝

日本臨床衛生検査技師会の朝山均副会長は5月8日、大臨技の会合で「臨床検査技師、衛生検査技師等に関する法律」の改正問題について、改正法案の上程は次期国会に持ち越されるとの見通しを示した。眼目の業務制限をめぐっては、「遺伝子、染色体検査」について、日本医師会の拒否感が強いとし、引き続き折衝を続ける方針を表明した。

2003年度日医精度管理調査報告 修正点96点以上の割合が4割超える

日本医師会の2003年度臨床検査精度管理調査報告書が、このほどまとまった。今回の調査は2812施設が参加し、前回調査を4施設上回った。各施設を採点した結果、獲得できた点数が修正点96点以上の割合は全体で42.0%と、前回調査を2.2ポイント上回り、修正点90点以下の比率は28.5%で前回調査を2.7ポイント下回るなど、全体的に精度管理が向上している。

全国国立大学臨床検査技師会 新会長に戸塚東大病院技師長を抜擢

全国国立大学臨床衛生検査技師会の定期総会が5月12日、富山市内で開かれ、新会長に戸塚実氏（東大病院検査部・輸血部・病理部・感染制御部統括の臨床検査技師長）が選出された。同会合では、会の名称を「全国国立大学臨床検査技師会」に改称することを了承した。

【MTJ（The Medical & Test Journal）6月1日号から】

日臨技調査報告書 外注先の選定関与は検査部の3割強

日本臨床衛生検査技師会はこのほど、03年度の組織調査結果をまとめた。それによると外注先の決定に臨床検査技師（技師長等）が関与しているのは33%にとどまるが、試薬・物品の決定権については一部あるを含め90%にのぼることが明らかになった。また、日々の検査件数を把握している施設は90%であるのに対して、検査部の収支管理をしているのは42%、人件費は44%と過半数に届かず、調査報告書では病院経営への積極的な参画が望まれると警鐘をならした。

厚生省 今年度新医師臨床研修に2204病院

厚生労働省は5月25日までに、本年度開始の新医師卒後臨床研修プログラムに参加する臨床研修病院は2076施設（管理型827施設、協力型1249施設）、大学病院は128施設（管理型100施設、協力型28施設）で、合計2204施設となったことを公表した。

日本電気泳動学会総会 11月12、13日、都内で開催

第55回日本電気泳動学会総会（総会長：芝紀代子・東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科教授）が11月12、13の両日、東京・新宿区の野口英世記念会館で開かれる。主な内容は、特別講演が「Affinity Electrophoresis から機能プロテオミクトへ」と題して中村和行・山口大学医学部分子感知医科学教授が、教育講演は「検査前検査から見た尿蛋白個別測定」と題して伊藤喜久・旭川医科大学臨床検査医学教授がそれぞれ講演する。

三菱化学ビーシーエル 新社長に佐川直敏常務が内定

三菱化学ビーシーエルは5月26日、新取締役社長に佐川直敏常務取締役検査本部長が内定した。中谷豪取締役社長は顧問に就任する予定。6月29日開催予定の定時株主総会、総会後の取締役会で就任する予定。

日水製薬、事務所を移転

日水製薬はこのほど診断薬本部、医薬本部、総務部などの事務所を移転した。移転先は（〒110-8736）東京都台東区上野3 - 23 - 9。診断薬本部（診断薬営業部、産業試薬営業部、マーケティング戦略部）は5月31日に移転し、電話番号は03-5846-5701、FAX 03-5846-5629、カスタマーサポートの電話番号03-5846-5707、FAX 03-5846-5629。

【MTJ（The Medical & Test Journal）6月11日号から】

構造改革特区 / 東大病院検査部、「遺伝子検査」の外部検体受託を検討

政府の構造改革特区の中で検査部関連のものとして、東大病院から申請されていた「病院における専門性の高い検体検査の受託の容認」が認められた。これに関連して、東大病院検査部は、「遺伝子検査」を軸に準備を進めていることが明らかになった。東大病院の中原一彦部長（臨床検査医学講座教授）は、「技術的基盤があったことから検討できたものだ。検査センターなどとも共存しながらやっていきたい」との基本的考え方を示した。

施設協総会 臨床検査技師の臨地実習費 10倍アップも

全国臨床検査技師教育施設協議会（三村邦裕会長）の16年度総会が5月31日、都内で開かれた。4月からの国立大学および国立病院の独立行政法人化が、臨床検査技師学生の臨地実習に関する実習費を大幅に跳ね上げる事態が、一部で発生していることが明らかになった。これは、国立機関での臨地実習費が、独法化前には省令のなかでシバリがあったが、独立行政法人化にともない省令改正が行われ、学生を送り出す学校側と実習先の医療機関との契約によって実習費を決めることが可能になったためだ。

全国国立大学法人病院検査部会議 先進技術リスト完成

全国国立大学法人病院検査部会議が5月28日、東北大学の当番校で開かれ、42大学法人病院検査部の先進技術のリストアップを完了したことが明らかになった。同会議の中原一彦常任幹事（東大病院検査部部長・教授）は、国立大学法人病院検査部が個々に得意とする技術領域がラインナップできたことで、相互協力体制の構築が進むことを期待していると述べた。

化療学会総会シンポ SARS・低感染リスクの検査手法開発を

日本化学療法学会総会が6月3、4の両日、沖縄県宜野湾市で開かれた。2日目の

シンポジウム「流行性急性ウイルス感染症の最新動向」では、世界を震撼させた重症急性呼吸器症候群（SARS）が話題になったが、杏林大学医学部感染症学の小林治氏は、2003年の流行期に比べ、現在のSARS病原診断は迅速性、感受性ともに向上したと評価したものの、咽頭拭い液を検体とする現行手法はリスクを伴うと指摘。今後、感染リスクが低い手法の開発に期待を寄せた。

日本糖尿病学会 糖尿病診療ガイドでコントロール基準改訂へ

日本糖尿病学会は、今月中にも血糖コントロール指標の評価基準の一部を改訂する。現在、糖尿病診療ガイド改訂版を評議員に配布、確認作業を行っている段階だ。今回の改訂版では、HbA1c値におけるコントロール評価の細分化を図るほか、空腹時血糖値などが変更され、より患者コントロールの徹底を図ることにしている。伊藤千賀子氏（広島原爆障害対策協議会・健康管理増進センター所長）は、本紙の取材に対して「今回の血糖コントロール指標・評価の見直しは、より臨床現場の実績に即応したものとされている」とし、改訂内容が妥当との認識を示した。

検査関連のNPO法人設立 良質な検査と健康増進事業を推進

「特定非営利活動法人（NPO）21世紀の健康医学検査を考える会」が、千葉県臨床衛生検査技師会の役員経験者などによってこのほど設立された。同法人は、広く一般の人々に良質な医学検査の提供と健康増進事業を推進させることが目的で、医学検査の評価、マネジメントを行う。川島徹理事長（順天堂大学浦安病院、前千臨技会長）は、具体的な活動として、「医学検査の精度および技術向上、技術者の雇用の確保、全国データの標準化などを行っていききたい」と述べる。

臨薬卸総会 情報の共有化で経営改善を

日本臨床検査薬卸協議会は6月3日、都内で2004年度定時総会を開いた。東康夫会長はあいさつで、「全国各地の動きが地方経済にも影響を与える時代になった。ユーザーの購入姿勢や価格情報がすぐに伝わり、ユーザーの情報収集と共有化が早くなっている」と指摘。さらに医療の標準化、IT化は医薬品の物流システムの構築に影響を与えていること、メーカー業界との間にもさまざまな問題が山積みしていることをあげ、「これら問題は、個々の企業だけで解決できる問題ではなく、業界として、情報をいかに早くキャッチし、共有化をはかり、個々の会員の経営計画に反映させていかなければならない」と述べた。

=====

JACLaP WIRE, No.72 (2004年07月02日発刊)

発行：日本臨床検査専門医会 [情報・出版委員会]

編集：JACLaP WIRE 編集室 編集主幹：満田年宏

記事・購読(配信)・広告等に関するお問い合わせ先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学医学部臨床検査部医局内

E-mail：jaclap_wire@yahoo.co.jp

TEL:045-787-2721

FAX:045-786-0392

日本臨床検査専門医会ホームページ：<http://www.jaclap.org/>

JACLaP WIRE バックナンバー

：

<http://www.jaclap.org/wire/index.html#TOP>

会員の皆様からの寄稿をお待ちしております！

メーリングリスト配信先の変更には

氏名，2.現行登録アドレスと3.変更希望メールアドレスを添えて

jaclap_wire@yahoo.co.jpまで「配信先の変更希望」としてお送り下さい。